

|         |     |       |         |         |                  |
|---------|-----|-------|---------|---------|------------------|
| 考 試 科 目 | 日 文 | 系 所 別 | 法律學系碩士班 | 考 試 時 間 | 2 月 5 日(四) 第 3 節 |
|---------|-----|-------|---------|---------|------------------|

一、請將下列法規的內容翻譯成中文  
(30% ; [ ] 內的文字無須翻譯)

- (一) 保護の実施機関は、要保護者が急迫した状況にあるときは、すみやかに、職権をもって保護の種類、程度及び方法を決定し、保護を開始しなければならない。〔『生活保護法』第 25 条第 1 項〕(8%)
- (二) 国有財産に関する事務に従事する職員は、その取扱いに係る国有財産を譲り受け、又は自己の所有物と交換することができない。〔『国有財産法』第 16 条第 1 項〕(8%)
- (三) 地球環境保全が人類共通の課題であるとともに国民の健康で文化的な生活を将来にわたって確保する上での課題であること及び我が国の経済社会が国際的な密接な相互依存関係の中で営まれていることにかんがみ、地球環境保全は、我が国の能力を生かして、及び国際社会において我が国の占める地位に応じて、国際的協調の下に積極的に推進されなければならない。〔『環境基本法』第 5 条〕(14%)

二、請將下列摘選著作內容翻譯成中文  
(50% ; [ ] 內的文字無須翻譯)

- (一) 法とは、国民の意思が権力者を拘束するものであるという民主主義的な法治主義理念の立場からみれば、問題はまったくちがってくる。主権者たる国民は、あらゆる機会をとらえてその意思を権力者に反映し、権力者が国民の意思にのみ拘束されて国家活動をおこなうよう要求しなければならない。それは国民の権利であるとともに義務でもある。各市民がこの権利を行使せず、義務を怠るならば、ついに民主主義政治体制は崩壊に至るであろう。〔渡辺洋三『政治と法の間——日本国憲法の十五年』(1963 年) 5 頁〕(20%)
- (二) 最初の近代民法典であるフランス民法は、その具体的制度・規定はそれ以前の慣習などを内容としつつ、はっきりとした思想に貫かれていたことを想起されたい。それは人権宣言に適合したものでなければならなかった。民法典は、慣習法という素材に人権宣言の精神・理念を吹き込まれて作られたものである。ということは、民法の理念は、人権宣言のそれであることを意味する。くり返すと、民法の目的が「すべての人の平等な、自由・人身・所有権その他の権利の保全」であるから、その理念は、自由、平等、人身、所有権の保護ということができよう。〔星野英一『民法のすすめ』(2009 年) 142-143 頁〕(20%)

|         |     |       |               |         |                  |
|---------|-----|-------|---------------|---------|------------------|
| 考 試 科 目 | 日 文 | 系 所 別 | 法 律 學 系 碩 士 班 | 考 試 時 間 | 2 月 5 日(四) 第 3 節 |
|---------|-----|-------|---------------|---------|------------------|

(三)「權利ノ濫用ハ之ヲ許サズ〔註＝許サズ〕」という一般原則は、親権の行使についても、その適用がある。この原則を親権の濫用に適用した場合には、通常、親権の行使によって生ずべき法律効果が否定せられ、また、訴訟法上の権利実現の手段が拒否される。〔摘選自谷田貝三郎「親権の濫用」『末川先生古稀記念——権利の濫用下』(1977年)110頁〕(10%)

三、請將下列中文翻譯成日文  
(20%，每題 10 分)

(一) 我可以坐在這裡喝一杯茶嗎？

(二) 他希望今年從政治大學畢業後，一個人去日本旅行一個月左右。



|     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 備 註 | 一、作答於試題上者，不予計分。<br>二、試題請隨卷繳交。 |
|-----|-------------------------------|